

# 十勝組だより

## 第27号

発行所 西内寺内  
音町長事務所  
十勝組々々  
発行人 木 幸 久  
白 揮 毫  
題字 庵 住  
妙 覺 寺 住 職  
脇 谷 暁 暢 氏

### 組長挨拶



十勝組組長  
白木 幸久

組長任期もいよいよ半年余りとなりました。昨年は七月三日帯広別院におきまして、十勝組のお待ち受け法要を、盛大にお勤めすることができました。本年、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要をお迎えし、すでに、組内各寺院より四〇〇名程の方々が本山に団体参拝されました。十年にわたる御影堂大修復工事を終えました本願寺に、感無量でお詣りされたことでしょうか。

五十年ぶりのご勝縁のもとで、本山では子どもたちがお寺に集うように、キッズサンガを推進しています。すでに、キッズサンガを

実施されている寺院もあります。

十勝組においては全寺院がキッズサンガに取り組めるよう、第一回「子どもをつどい」を七月二十七日帯広別院にて開催しました。当日は昼食の流しそうめんなど、お楽しみ盛りだくさんの日程でした。ブラックライトシアター(特殊なライトを登場人物や風景に当てて光らせる劇)では『おとうさんとだいちちゃん』を上演しました。そのストーリーは、十勝組が東北の被災地支援に行った際に出会った、お父さんと老犬だいちちゃんの実話に基づくものです。かけがいのない命の大切さを、子どもたちに感じとってもらえたような気がしました。

三月十一日に発生しました東日本大震災は未曾有の被害をもたらしました。各寺院より多額の義援金が本山に寄せられ、各被災地の支援に役立てられています。十勝組においても災害対策委員会が設

置されました。組内から現地へのボランティア活動を支援するために口座を開設しましたところ、早速、支援金を寄せていただき、ありがとうございます。

五月には被災地の要望を受けまして、ボランティア活動用のバン型自動車や仙台別院に寄贈しました。四名の僧侶が当地から現地に、自動車を運搬するとともに、持参した支援物資の配布、避難所でのラーメン炊き出しの手伝い、遺体安置所での読経などボランティア活動を行ってきました。

十勝組では「私たちのできることを少しでも」という思いから、ボランティア支援に取り組んでいます。僧侶、ご門徒の方々分け隔てなく支援していますので、ボランティア活動とボランティア支援募金に対しまして、今後とも協力をよろしく願います。

### 教区会等の動きについて

教区会議員

梅原 了圓

現在、ご本山では親鸞聖人七五

十回大遠忌法要がお勤まりになっています。昨年は教区においてもこの度のご法要をご縁として、札幌市における都市法要(於…札幌別院、つながりフォーラム2010)(於…サツポロフアクトリー、本願寺展(於…道立札幌近代美術館)等各種行事が行われ、又、各組においてもお待ち受け法要が多くの方々のご協力ご懇念のもと勤められました。心より感しく感謝申し上げます。教区にあっては、この度の法要及び関連諸行事総括報告について、去る二〇一一年七月十三日に法要委員会が開催され、総括書案について了承がなされたところですが、いずれ近い内に教区内各寺院に教区・宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌お待ち受け法要行事総括書が送付されてきますのでご覧いただきたく思います。この度のご法要が、今後更なる一歩を踏み出す大きなご縁となればと心から念ずるものです。

今年度に入つての教区会の主な動きとしては、去る二〇一一年七月十九日に今年度第一回の臨時教区会が開催され、本来ならば昨年度の各種会計部門の決算報告案件を中心とした会議が行われる予定でしたが、諸事情により次回に

延期となり、来る九月二十八日第二回臨時教区会において報告されることになりました。その外、この度の第一回臨時教区会において去る二〇一一年六月五日にご逝去されました当教区選出の門徒宗会議員 新谷淳治氏（北見東組常楽寺門徒）の後任に関する補欠選挙が行われ、胆振組正光寺門徒 牧田宏氏が門徒宗会議員に当選され選出されました。お体に留意の上、今後のご活躍を心より念じ申し上げます。尚、当日は教区会閉会後、先の宗会（第二九八回）にて可決されました宗法改正についての研修会が総局公室長 中尾史峰師を講師に招いて開催されました。宗門の最高法規「浄土真宗本願寺派宗法」が約六十年ぶりに全文改正され、それについて二〇一一年六月十三日に公示されました。それに伴い「宗規」、本願寺「寺法」の改正や本願寺の自治法「本山典令」が新たに制定され、二〇一二年四月一日より施行される予定となり、それに対する概要説明が行われました。今後、様々な機会を通じてこの度の改正内容について周知がなされていくものと思いますが、改正内容が本山、本願寺、宗派、宗会等の各々の位置づけ、

相互の関係、権限内容、又、各寺院に関すること等多岐にわたる「次代の宗門」のあり様に関わる重大な課題を含む改正に思われます。今後共、宗門の将来に向けて共々に関心を共有し歩まねばとあらためて思う次第です。 合掌

### 平成三三年度 総代会活動報告

三月二十七日（日）午後二時より帯広別院にて、総代・研修会について役員会を開催し、総会・研修会を四月二十六日（火）に開催する事を決めました。

四月二十六日は十三時より受付、十三時三十分より総会を開催いたしました。総会が予定より早く終了し、時間が空いたので研修会までの一時間を玄誓寺住職様にご講話でつないでいただきました。

研修会は光心寺住職桃井信之師をご講師に迎え、講題「門徒総代の心得」についてお話を頂き、研修しました。参加者は三十四名でした。

参加して頂きました各寺総代の皆さまありがとうございます。

六月二十六日（日）十四時より、本年度開催のCブロック総代会についての会議を開催しました。本



年度は、北見西組主管で、九月二十九日（木）〜三十日（金）紋別市のホテルオホーツクパレスでの開催がすでに決まっています。役員会ではバスや案内等の手配について話し合いました。

Cブロック総代会には、十勝から十五名が参加しました。帯広より約五時間かけて紋別市のホテルオホーツクパレスに到着し、十三時三十分より教区総代会総会十四時十分からCブロック門徒総代研修会、講師は基幹運動推進中央相談員の中川清昭師（福岡県筑紫野市願應寺住職）でした。参加者総数八十五名。

次年度（平成二十四年）は十勝組主管です。

今後の事業は、例年通りの総代会・壮年会の合同一泊研修会が平成二十四年二月開催予定です。

各寺総代さまには、今後とも総代会各種行事のご参加をよろしく願っています。

## 壮年会

壮年会部部長 上本 周司

①四月十九日、帯広別院講堂に於いて、第二十四回総会開催。例年通り、前年度事業、決算、監査報告、新年度事業計画、予算案と





続く。終了後、研修会となる。

②五月十八日、二役会が開かれ、パークゴルフ大会、東日本大震災救援募金、新理事の件について話し合う。

③六月二十三日、豊頃町茂岩山パークゴルフ場に於いて、雨の中多数参加していただき、競技終了後、懇親会をして親睦を深めた。

又、役員会も開き、来年度のパークゴルフ当番等を西然寺から光心寺に変更と決まる。

④今後は、年末か年始に総代会との一泊研修の打ち合わせの予定。今後共、十勝組やお別院の方々にお力をお借りしながら、大野会

長はじめ会員一同協力して、お念仏繁盛、ご法義繁盛につながる活動になればと思います。今後共よろしくお願いいたします。

## 第1回 十勝組 キッズサンガ

十勝組 青少年部部长

藤本 実円

既に八月の下旬に発行いたしましたキッズサンガ瓦版でお伝えした映像は十勝組の配布物として全寺院にお配りいたしました通り、親鸞聖人七百五十回忌大遠忌法要お待受法要の一環として、七月二十七日に第一回十勝組キッズサンガが、帯広別院を会場として開催されました。七ヶ寺より申し込みを頂いた約百人の小學生が参加し、十勝組総代会・壮年会・婦人会・一味会・七味会会員等の協力の中、終始、賑やかな子供たちの歌声の響く中進められました。(詳しくは瓦版にて)

この日を迎えるまでは、合同役員会、ブラックシアターにあっては青少年部はもちろん、七味会の方々を中心に立案から制作・練習を含め、何度も足を運んで頂き、お礼を申し上げます。

十勝組での活動が始まって三年目になります。残念ながら、各寺院で子ども会を開催出来ない現実ではありますが、これまでの活動を通して、子供たちの阿弥陀様のご縁作りの輪が少しずつではありますが、広がりが、深まって行くことを今後に期待しております。

一人の力、単独の寺院では難しいことも、お念仏と共に分かち合い、協力を頂く中で、僧俗共に歩ませてもらう。そこに大遠忌法要の年に開催したキッズサンガの目的が達成されました。

## 研修部

二〇一一年度四月からの研修部は、昨年度末までに募集をかけていた第九期連研(門徒推進員養成連続研修会)を四月より開始しました。受講状況として久々の帯広別院からの参加を含め、七ヶ寺四十一名。現在のところ出席率も非常に高く、意欲的に進んでいます。七月末までに月一度のペースで、第四回(最終回)までを開催しました。

第五回は九月十七日、第六回は十月下旬に予定し、今年度内に十回開催の計画を立てています。さ

らに、第八期連研の修了者お一人が、七月に開催された第二十三回「本山・中央教修」へ参加され、第八期から計二名が門徒推進員になられました。

毎年度十月中旬に開催しております「十勝組基幹運動推進僧侶研修会」を、本年は十月に教区からの「差別事件から学ぶための組巡回」が計画された関係で予定を大幅に繰上げし、八月二十五日・十勝川温泉・観月苑にて開催しました。講師には、本年度組内報恩講に久々にご出講されました富山教区・藤島秀夫氏に都合をつけて頂き、基幹運動の願いを根幹としている教学、特に『本願文にかえろう』と題し、「阿弥陀如来が因位の時である法蔵菩薩が建立された四十八願そのものが、差別があつてはならない、認めることはできない」とした願いであり、この事実を第一願より願文に即して、第四願まで詳細にご講義頂きました。「私たち自身のこの苦惱の人生を生きていく上で、本当の人間になっていくこととする歩み、あるいは不完全なことを自覚し、変えられていく営みこそ、本願文が語りかけていることである」と力強くご講義頂けたことは、大変

大きな気づきとなりました。  
本年度以降、機会が恵まれば再度お招きし、第五願以降の講義から学びを深めていきたいと考えています。

## 一味会

一味会会長 皆川 隆信

一味会の会長という大役を引き受けてから、四ヶ月が経とうとしています。会員一同に支えられながら、マイペースに楽しく会長をさせていただいております。

五月二十三日に総会が開かれ、五月三十一日に十勝の大谷派の方々毎年恒例の東西交流ソフト大会を開催しました。総会からすぐのことと準備が大変でしたが、ソフトボールや懇親会で盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

六月二十二日の定例会では、宮城県・岩手県などの被災地支援に行かれた方のお話を聞き、被災地の現状と厳しさ、そして積極的な活動に胸が熱くなりました。

七月十四日に北海道教区青年僧侶協議会の主催によるソフトボール大会が行われる予定でしたが、

雨天のため、ボウリング大会に変更されました。前日には懇親会もあり、親睦を深めることが出来ました。

七月二十七日には第一回十勝組キッズサンガが開催され、多くの会員の方に協力して頂きました。私はブラックシアターに参加し、思い出深い活動をさせていただきました。しかし、一番良かったことは参加した子供たちの純粋な笑顔を見られたことでした。

一味会では、去年に引き続き、自死問題について深く掘り下げて考えています。七月七日に「どさ



んこワイド」でも取り上げていただきましたが、多方面から自死問題を見つめ直し、私たちに出来ることは何かを追求していきたいと思っています。

また、来年には十勝の地で「第二十三回温泉説法」が開催されることが決まり、一味会としてできることを精一杯させていただきたいと考えております。

これからも会員皆さまのご協力をいただきながら、楽しく有意義な会にしていきたいと思っております。

## 七味会

七味会会長 高久百合香

今年度は新たな企画に取り組みまして「お寺探訪」と題し、組内の寺院を訪問、沿革を教えていただいたり、院内を見学させていただいたり、ずうずうしくお邪魔させていただきました。第一回は五月三十一日に新得の新泉寺を訪問しました。院内見学の後、前住職さまよりお話を聞き、「お寺を守る防守として、くれぐれも無理はしすぎないこと、身体を大切にしてください!」とお気遣いの



光心寺にて

お言葉をお聞きしました。第二回は九月九日に帯広大正の光心寺を訪問しました。今から三十年程前に製作さ

れた自主映画の『法灯一世紀』を鑑賞いたしました。内容は、本堂修復にはじまり慶讃法要、そして本願寺より即如ご門主さまをお迎えされた時の様子など、それは素晴らしい映像でたいへん貴重なものを見せていただきました。その後、

ご住職さまより沿革をお伺いし、院内を見学させていただきました。お時間をありがとうございました。都合いました。各寺院



新泉寺にて

のみなさまありがとうございます。とても有意義な時間となりました。年度内にもう一ヶ寺お伺いする予定しております。

他に、七月二十七日に帯広別院を会場に行われましたキッズサンガにもスタッフとして参加させていただきました。その中でもブラックシアターの企画に携わることができたことは素晴らしい経験となりました。ありがとうございます。 合掌

## ビハラー十勝の

### 活動について

ビハラー十勝代表

高田 芳行

去る九月十五日午後二時より帯広別院において北海道ビハラーの



会第三回ビハラー講座が三十名を超える参加者の中開催されました。

講師は鹿児島教区善福寺住職・宗派のビハラー活動推進委員の長倉伯博先生でした。先生は地元鹿児島で医師や看護師らと「かごしま緩和ケア・ネットワーク」を立ち上げ、医療チームの一員として患者や家族のケアに日々取り組み、そして医療スタッフの悩みにもアドバイスをされています。

今回の研修テーマは「傾聴活動について」でした。なぜ傾聴が大切なのか。傾聴の基本。傾聴のキーワード等、先生が長年取り組んでこられたビハラー活動から学ば

れた貴重な体験を分かりやすく話していただきました。先生の傾聴活動のスタンスは「相手に対して問題解決者になるのではなく、伴走者となる」という言葉でした。これは今の私の活動の原点を再認識させてもらえる言葉でした。人は時に孤独感に苛まれることがあります。そんな時、共に寄り添ってくれる人がいればどんなにか心強いことでしょう。阿弥陀さまはいつでもお念仏となりこの私に寄り添って下さっております。寄り添われている私が今度はどう動いていけるのか。

これからもビハラー十勝の活動「帯広慈恩の里でのビハラー活動」を中心に傾聴活動をはじめ様々な実践活動を多くの人と共に推進していきたいと思っています。どうか皆さま、ビハラー十勝の活動にご参加下さい。 称名

## 災害ボランティア

十勝組音更町光明寺

白井 教生

震災後の四月と五月に、宮城県を中心とした復興支援活動に参加させて頂きました。実際に自分の

目で見た被災地での感想は、町を瞬で飲み込み消滅させた自然の力が持つ破壊力と、被害の甚大さでした。潮の匂いと様々な物の匂いが合いまった匂いは、決してTVやラジオでは伝わりません。また、同じ被災地と言っても道路一本を境に、津波の被害があった所と無かった所の差の大きさや、遺体安置所での八十を超える棺の数、避難所においては、報道で大規模な所しか映し出されていませんでしたが、行政の手が行き届いていない小規模な避難所が無数に点在していた事など、現地に赴き自分の目で見て初めて分かった事などが無数にありました。

震災から半年以上になりますが、今なお行方不明者が多数おられるという深い悲しみの中で、被災された方々は不自由な生活を余儀なくされています。今後は阪神大震災同様、大切な人や大事な物を失った方々や、仮設住宅に入居されている方々に対する心のケアなどが重要になってまいります。私達僧侶に出来る事は限られてはいませんが、決して無力ではありません。長期になるであろうこの度の復興支援に、私自身今一度出来る事を考えさせて頂きたいと思っております。

## 巡礼の旅

新得町新泉寺門徒 莊司 和子

私にとつては二度とない貴重な巡り合い、それは歴史を刻んできた親鸞聖人七百五十回大遠忌法要への「ご縁」に接したことです。

五月十六日、本願寺参拝当日の人、人、人：には、これが「ご本山」と圧倒される思いでした。折しも、世界仏教婦人大会の日本開催とあつて、その日に大会の参加者も参拝され、国際色豊かな場となり、親鸞聖人の教えの深さや広がりを目の当たりにしました。

また、「ご縁」は、私の身近に、つまりわが寺のご門徒さんとの交流を深めることにもなり、とても意義深い「旅」でした。「ともに座り、ともにお参りする(本願寺新報)」意味を大勢の門徒さんから、また身近な門徒さんから学ばせて頂きました。

「巡礼の旅」は、山口県長門市仙崎の金子みすゞさんの故郷へと続きます。



「みすゞ通り」を散策し始めて間もなく、「この通りは普通じゃない!」と気づいたのです。各家庭の玄関や扉に「みすゞさんの詩」を書いた紙(厚紙)が掲げられているのです。歩を進めて行くと次のお宅でも、また次のお宅でも、そしてまた

た次のお宅でも：というようにです。子供さんが書いてカラフルなもの等、みすゞさんの詩がずうっと続いているのです。更に驚いたことは、「ツバメ」が、民家の

玄関の天井や軒先等に、まるで家族の一員のように棲みついて子育てをしていることでした。「こんなところにもみすゞさんがいる!」と思つたのです。人にも動物にも植物にも優しいみすゞさんの心が、時を越えてしっかりと息づいていることを感じました。

「みすゞ記念館」もまた、みすゞさんのお人柄が凝縮され優しいまなざしにすっぽりと包まれているような空間でとても印象的でした。「いつも、いつも優しい心で弱い立場のものに寄り添えるのだろう」とその非凡さを感じました。住職さんの「みすゞさんは幼い時から真宗の教えの中で育てられた人なのです」という言葉が、私の疑問を解いてくれました。 合掌



## 真浄寺 住職継職法要

去る、六月二十二日に、真浄寺さまの継職法要が勤修されました。前任職でありました永田真成さまには永年にわたりご苦労さまでした。又、新任職になられました永田弘彰さまには、今後共十勝組の活動にもご協力の程お願い申し上げます。

2011(平成23)年度

## 十勝組・帯広別院テレホン法話 当番担当表

照経寺 鷺岡 康照	11月1日、11月15日
光明寺 西原 信子	11月16日、11月30日
宝照寺 泉 恒樹	12月1日、12月15日
玄誓寺 上本 周作	12月16日、12月31日
帯広別院ご輪番	
1月1日、1月15日	
仏照寺 藤本 実門	1月16日、1月31日
妙法寺 石田 秀誠	2月1日、2月15日
光明寺 白井 教生	2月16日、2月28日
東光寺 豊田 信英	3月1日、3月15日
義教寺 梅原 真依	3月16日、3月31日
南宗寺 竹中 淳記	4月1日、4月15日
勝興寺 小澤 知史	4月16日、4月30日
光音寺 頼田 光明	5月1日、5月15日

☆宗門目標 御同朋の社会をめざして  
☆スローガン ともにいのちかがやく世界へ

テレホン法話 (0155)21-7777  
十勝組ホームページ <http://www.tokachiso.com>  
北海道教区ホームページ <http://www.hokkaidohongwanji.jp>  
〔IDは寺院番号6ケタ、パスワードは教区時報第194号に各寺同封〕

## 編集後記

遅れておりましたが、二十三年度の前期号を発行いたします。

次号は年度末ならびに任期末なので、二月末日をめ、原稿のご依頼を申し上げます。

合掌